

おお大勝利

平成 31 年度 / 令和元年度 山東サッカー部報第 1 号 (4 月 9 日)

サッカー部保護者の皆様、OB・OGの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

恒例の千葉遠征実施 シーズンイン迫る!

3 月 28 日～31 日恒例の関東遠征に行きまして。これまでの山東の遠征も千葉への遠征が主体ではありましたが、途中埼玉に寄ったり、波崎(茨城)に行ってから千葉に移ったりが多かった。今年は初日(28 日)から、千葉のファミリーサッカー大会を統括して下さっている東邦大東邦高校の瀬川先生のご厚意で千葉のチームを紹介してもらい、全日程千葉で過ごしました。

28 日 6 時 30 分に山形を出発。OB として山形から同行してくれたのは、**1 浪して今年東北大学に合格したベジこと石原君**、同じく **1 浪して今年山形大学医学部医学科に合格したカイトこと佐藤君**(山東第 68 回卒)。二人は 4 月からサッカー部でバリバリとサッカーを続けるそうで、後輩の面倒を見つつ体慣らし。現地からの参加は、彼らの二つ上の代の**上智大学新 3 年克(カツミ)君**(66 回卒)。カツミ君は正月の埼玉遠征からの連続参加となり、**彼の山東サッカー部愛の強さを感じる**。また、この遠征には、**仕事を休んで! 高橋コーキ(46 回卒)が参加**してくれた。大学生の OB の参加ももちろんうれしいが、やはり「大人」の参加は心強い。

初日(28 日)は、上記の瀬川先生に紹介してもらった**昭和学院秀英高校**さんにお世話になる。千葉の私立はほとんどが人工芝ピッチを保有しているのだが、昭和秀英さんも素晴らしい人工芝ピッチをお持ち。28 日まさかの降雪のあった山形からまさに別世界に来た印象。試合は相変わらず雑なプレーや判断の遅いプレーが多く、シーズンインを前にした仕上がりの良さは感じられない。B では予想通りの OB 頼みの試合運び。反省点満載の初日。

二日目(29 日)からは**千葉ファミリーサッカー大会**に参加。この大会、**今年で 37 回**を数える。前顧問の晃先生(35 回卒)¹の頃から参加しているので、山東はこの大会が一桁の頃から参加していることになる。もちろん私(43 回卒)も高校生のとき参加した。以前は大々的に行われていた大会だが、人工芝や天然芝を揃えた大会が人気となり、今は有志で続けているといったところ。私が山東で顧問になってから、少し浮気して他の大会に出たこともあるが、やはり家族的なこの大会への愛着は深い(まさにファミリーサッカー大会の名の通り)。

大会初日(29 日)の会場は宿舎(グランパークホテルパネックス千葉)からやや遠い**君津商業高校**。私も何回も来た記憶がある。カツミ君も「ここで試合やってめちゃくちゃ(今野から)怒られて、悔しいから会場脇の練習でガッツリやったら怪我したな～」など思い出を披露。私の遠い記憶も呼び覚まされる。試合は強風な中ではありましたが、**1 年生ナカノヤワタル**など、これまでスタメンを張ってきたというわけでもない 1 年生(新 2 年生)に

¹ OB として参加してくれたカツミ君のお父様でもあります。

可能性を感じた。Aは押し気味に試合を進めてもしっかりゴールまで攻略できない曖昧さあり。BはOB3名が大活躍・・・寂しいことではありますが、その表現しかできない。**右SBで出場した高橋コーチのハッスルプレーが忘れられません。**

三日目(大会二日目 30日)の会場は**袖ヶ浦高校**。ここも何回も来たな～という感慨あり。この日から、**千葉大学新2年生のネイマールこと寧君**(68回卒)も参加。袖ヶ浦さんは選手一人一人が球際をしっかりと頑張るし、DFライン裏を突く攻撃がダイナミック。競り合いで逃げ腰だったり、DFラインのコントロールが不十分な山東にとって、「とてもトレーニング効果のある戦いとなるな～」などと思って試合を観ていると、思いがけないところで**2年(新3年)ダイキ**がうずくまっており、主審がベンチを呼ぶ。どうやら肩を痛めた模様。しかも、かなり痛がっており、まったく動かさない。ということで、**救急車を呼んでもらい、救急搬送**。現場を高橋コーチにお願いし、付き添いとして私と**2年(新3年)マネージャーのアヤ**が同乗。アヤはダイキの肩をずっと押さえ続け、私は荷物持ち。**結局診断は右肩の脱臼のみ**で、幸いにもと言っていいだろう、骨には異常がなかった。救急車内ではちょっとした振動にも顔をゆがめたダイキだったが、搬送先の病院で肩をはめてもらったら、かなり楽になったよう。一安心。病院から袖ヶ浦高校へタクシーで戻る。**その時には、後に起こることはもちろん予想できなかった!** なんとタクシーで戻ってから1時間も経たないうちに、今度は**2年(新3年)GKイグラ**が相手と交錯し、右肘に逆の力が加わり声を上げて痛がる。もしものこともあるので、**まさかまさかの救急搬送パート2**。駆けつけた(先ほどと同じ)救急隊員も、「また山形の選手ですか」といったあきれ顔(のように見えた)。故障気味で離脱していた**2年(新3年)アキシン**とともに同乗。搬送先が違う病院だったことが、少し心を軽くした。**結局イグラ、右肘の靭帯損傷**。私も長らくサッカー部顧問をしており、救急車に同乗したことは1度や2度ではありませんが、**1日で2回乗ったのは初めて**。まあ、両者とも骨まで行っていなかったことは不幸中の幸いではあるが、高橋コーチから聞くところでは袖ヶ浦会場での試合もかなりまずいものだったようで、気持ちは落ち込む。

四日目(大会三日目 31日)の会場は、毎年お世話になっている**茂原北稜高校**。これまでも「茂原北稜さんとどれだけやれるか」でその年の出来を占ってきた。最終日、ベジ、カイト、ネイマールと同期で今年**1浪して早稲田大学に合格したヒロこと川野君**も参加してくれた。山東は前日粘りなく負け続け、「スキルの差を点差にしない粘り強さ」を伝統の一つとするチームとしては情けない戦いをしてしまった。最終日もこうした戦いをするようでは、何のために多大なる犠牲を払って千葉まで来たかわからない。ということで、**もしビハインドになっても声をかけ続け、雰囲気落とさず、しっかり粘ろう、と試合前に口にする選手たち**。もちろん様々な差から苦しい戦いを強いられましたが、前日より粘りある戦いはできた。その点では若干成長があった。Bでは、肌寒い中²であってもジョン・テリー(元チェルシー)ばりに半袖でプレーしたヒロが、格好だけでなく「球際で負けんじゃね～」と熱い声掛けで現役選手を鼓舞。**プレーだけでなく精神的な面でもチームに貢献する方法があることをヒロは示してくれました**。ABとも1試合ずつやって千葉を後にし、雪の山形へ戻りました。

ということで、**コーチ、OBに本当に助けられた今回の千葉遠征となりました。高橋コーチ、カツミ、ベジ、カイト、ネイマール、ヒロ、本当にありがとうございました!**

² そうなんです。毎年この千葉遠征では山形とは全く異なる麗らかな春を満喫し、桜をいち早く観てきましたが、3月末の今年の関東は寒い寒い。念のためベンチコートを持っていきましたが、毎日必須アイテムでした。茂原北稜さんの美しい桜も、今年は鮮やかな姿を観ることはできませんでした。

チームとしてはシーズンを前に自信を深める経験がほとんどできず、「これではマズイ」と焦りばかり募る遠征となった。先発2名の故障はチームにとって痛手ではありましたが、そういうレベルの問題じゃない。**この状況は予想の範囲内ではありましたが、予想を上回るチームの仕上がりをどこかで期待する自分がいたので、現実を突きつけられた**とでも言おうか。これまでたいてい、秋まではマズイ状況でも冬場のトレーニングを経て春先には「行けるかも」との期待は沸いてきたのだが、今シーズンはそうもいかない。

さて、こんなネガティブはことばかり書いておりますが、今シーズンの山東、どんな戦いをするでしょうか。今週末が開幕戦となります。応援よろしくお願いします。

4月14日(日) Y2A第1節 VS 羽黒B @県第2(人工芝) 15:45~

サッカー一部進学実績公開!

今年もサッカー部員(現浪合わせ)の進学先を公開します。ここ数年憤慨していることに、どうやら塾関係者を主として、山東の運動部に対して、「〇〇部に入ったら勉強できなくなるぞ」などの情報を流している模様。サッカー部はその〇〇の筆頭といったところ。「勉強が大切な山東で〇〇部に入ったら終わり」などの言葉を流し、勉強中心の生活をさせ塾にも通わせる、といったところか。そうしたデマを真に受けてしまう生徒・保護者もいるのが事実。サッカー部への入部を迷った生徒(マネージャー希望)の親が、「大学諦めるの!」と娘に迫り、入部を止めさせたなんてことも〇年前にありました。いわゆる**風評被害に合っている**のです。「だったら、**サッカー部員がいかに文武両道を実践しているか**、進学実績を公開して、風評に対抗してやろう」との思いから、今年も公開。

2019年入試 サッカー部進学実績(現浪合わせ)

【国公立】

北海道大学	水産学部	1名合格
東北大学	法学部	1名合格
	工学部	2名合格
山形大学	人文社会科学部	1名合格
	工学部	1名合格
	医学部	1名合格
新潟大学	教育学部	1名合格
	工学部	1名合格
信州大学	繊維学部	1名合格
埼玉大学	教育学部	1名合格
千葉大学	理学部	1名合格

【私立】

早稲田大学	社会科学部	1名合格
-------	-------	------

【浪人】

6名

いかがですか。誤った風評をしっかりと跳ね除け、「国家の運命雄雄しく負わん」（校歌3番）という王道を歩み続けましょう。そのためには**現役生諸君、しっかり勉強もやりなさいね。**

スタッフの交代について

今年の校内人事により、**8年にわたりサッカー部顧問をしてくださった志村先生**がサッカー部を去り、ソフトテニス部へと移ることとなりました。志村先生にコメントを求めたところ、「簡単には語りつくせないなので、今度部報でしっかりお伝えします」とのこと。「なんかの試合の時に保護者の前であいさつすればいいんじゃない」という私の打診にも、「それでは短すぎるので」とのこと。**どんな長文を掲載してくれるのか、乞うご期待。**ともかく、河川敷のグラウンドを取りに行ったり、お金の管理をしてくれたり、選手にはなかなか見えないところの「縁の下の力持ち」を担って下さいました。**本当にありがとうございました。また機会あれば、サッカー部顧問待ってますよ！**

そして、代わりにサッカー部にいらっしゃったのが、**御船悠（みふねゆう）先生**。サッカーの専門家ではありませんが、大所高所から選手を導いてくれるはずです。宜しく願います。

また、コーチにも交代があります。**長きにわたり GK コーチとしてお世話になった齋藤さん**（山東第43回卒）ですが³、昨年途中から宮城県北部の奥様の実家にお住まいになりその近辺の仕事を始めた関係で、サッカー部の活動になかなか参加できないため、**コーチをいったん卒業**することとなりました。**いったんなので、復帰はあり、ですが、ひとまずお疲れさまでした！** 代わりに、山東サッカー部 OB にして、筑波大学で風間監督（当時）のもと体育会サッカー部でバリバリ活動し、その後、先輩のついでで相撲で有名な鳥取城北高校に勤め6年間サッカー部監督をし、**鳥取城北を米子北に次ぐ強豪に育て上げた小池コーチ**（山東第59回卒）が就任することとなりました⁴。小池コーチは今年山形大学附属中で非常勤講師をし、教員採用試験を目指すそうです。来年は試験に合格し、どこかの高校に赴任するでしょうから、1年だけの活動が現実的ではありますが、**将来は山東監督になってもらわなければならない人材です。小池コーチ、よろしくお願い致します！**

³ 64回卒 GK のヒデアキから指導を開始しましたので、ヒデアキ→オオノ→サブロー→クロサカ→ハレル→ホタテ・カイチ→イグラ→カザマまで、計8代・9名の GK を育てて下さいました。

⁴ この3月で鳥取城北を退職し、山形に戻ってきました。